

平成26年度

事業報告書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

目 次

要旨	1	(2) 長寿の郷ロクハ荘	15
I 公益目的事業	3	①高齢者の健康づくり、介護予防の推進	
1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業		②多世代交流事業	
(1) まちづくり振興		③協働の役割	
①まちづくり活動サポート		④周知活動	
②市民活動ハンドブック	5	⑤利用者向上対策	16
③草津市生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」の作成発行	6	⑥地域とのかかわり事業	
④草津市ゆうゆうびとバンクの作成発行および登録者活動支援		(3) 高齢者コミュニティ	
⑤「パワフル交流・市民の日」と「くさつ子どもフェスタ」の合同開催	7	3. 環境及び公園緑地等に関する事業	
⑥コミュニティ・ビジネス講座	8	(1) ロクハ公園	
⑦市民活動支援（助成金等）		①カブトムシの家（自然ふれあい事業）	
⑧地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」の運営	9	(2) 児童公園等	17
⑨まちづくり協議会HP 運営サポート		①環境・緑化関連機器貸出事業	
⑩まちづくり情報紙「コミュニティくさつ」の作成発行		②粉碎機貸出事業	
⑪草津市市民まちづくり提案事業報告会	10	③環境・学習事業	
⑫市民協働円卓会議運営サポート事業		4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業	18
⑬草津市コミュニティ支援センター		(1) 草津クリアホール	
⑭各種団体との協働事業	11	(2) 草津アマカホール	
⑮市民公益寄付金制度		①市民参加型事業	
⑯事業団ファンクラブの創設		②鑑賞型事業	19
(2) まちづくりセンター	12	(3) 文化・芸術	
①公益活動の日の実施		①アートセンターの開設	
②ふらっとサロンの有効活用		②アウトリーチ事業	
③インターネット環境の充実	13	(4) スポーツ振興	20
④子育て支援「ママ・コミュニティ」事業		5. その他の事業	
⑤まちづくりセンター アウトリーチ（まちの彩り事業）		II 収益等事業	
⑥まちの情報局		(1) 公共施設管理	21
⑦運営協議会事務局業務		①道の駅草津駐車場	
⑧まちづくり機器貸出事業	14	②まちづくりセンター貸館	
2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業		③ロクハ公園（プール事業）	
(1) なごみの郷		④児童公園等維持管理	
①高齢者生き生き増進事業		⑤なごみの郷、ロクハ荘、クリアホール、アマカホール、各施設の維持管理	22
②心身の健全な育成、豊かな人間性を育てる事業		(2) 収益活動	
③地域との関わり事業		①野村月極駐車場	
④多世代交流事業		②合同会社	
⑤利用者向上対策事業		III 重要な契約に関する事項	23

要 旨

平成26年度は、事業団設立30周年をはじめ、草津市制60周年および立命館大学BK C開学20周年など、各種周年を迎える記念すべき年でありました。このような節目の年において、事業団の果たすべき役割をあらためて振り返り、市民自治の活性化に向けた中間支援組織としての機能強化を図りながら、志を同じくする人々や必要とする人々を結ぶ「かけはし」となり、また地域、企業、行政等の様々な関係する多くの主体が協働できる仕組みづくりとその支援を図ることで、より皆さまと歩む事業団を目指し「おかげさまで30年。これからも市民とともに」を合言葉に職員全員が一丸となり、様々な事業を展開しました。

以下、このような基本方針に基づき事業計画に記載した下記6点の【重点事項】に沿って事業の概要を報告します。

1 設立30周年を機に

アミカホールでのオリジナルミュージカルを皮切りに、5月に総合体育館で行った「ひろみちおにいさんの体操教室と事業団ふれあいイベント」をはじめ、6月の「緑化フェア・ロクハ大感謝祭」と「なごみの郷親子の日」、7月にまちづくりセンターで行った「ふるさと落語会～まちづくり噺（ばなし）」、10月の「市民ふれあい秋まつりinくさつ」、11月の「ミュージカルショーくさつ花めぐり」とJR南草津駅西口の東山道記念公園で行った「2014イルミナ★ワンダーランド」など、事業団をあまり知らない親子やファミリー層を狙った各種30周年事業を行い、事業団のPRに努めました。

2 事業団ファンクラブの創設

市民とともに歩む事業団を広め、事業団が取り組む様々な活動を協力支援していただくため、事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」を創設しました。この「まち活マッチ」の名前には、市民の善意あるまちづくり活動（まち活）の応援団として人や街をつなぎ（マッチング）、たくさんの人（much）の笑顔につなげていくという願いを込めています。

3 新マスコットキャラクター「まち活マッチ」の効果的な活用

事業団設立30周年を記念して生まれた「まち活マッチ」は、ミツバチが花から花へと新しい命を育むように、事業団やその職員が人と人をつないで街の間に笑顔が咲く草津の明るい明日を育み、ミツバチのように一つひとつの努力、一人ひとりの小さな力を合わせることで、街を動かす大きな活力へと変えていく取組みにつなげたい思いの象徴とし、設立30周年特別事業を中心に事業団の広報・宣伝担当として啓発活動を行いました。

4 中間支援組織としての資質技能の向上と社会福祉協議会との連携

平成26年7月1日に当事業団は草津市から草津市協働のまちづくり条例に基づく中間支援組織として、草津市社会福祉協議会とともに指定されました。このことから中間支援の更なる理解と相互連携や役割分担を行うため、昨年度に引き続き合同研修会を開催し資質技能向上に努めるとともに、職員の人事交流を行いその連携を図りました。



5 事業団改革プロジェクトと改革プランの推進

平成26年3月に策定した「事業団改革アクションプラン 2013～「自律と共生」～」の具現化を図るため、平成26年度の事業方針として三つの重点取組項目を（1）市民・利用者に愛される施設運営（2）「政策支援型」の戦略的な指定管理提案（3）中間視線組織としての機能強化、と定め組織目標を明確にするとともに、この方針に基づく目標管理シートを施設ごとに作成し事業管理の適正化に努めました。

6 指定管理の戦略的な提案

平成26年度に指定管理の提案年となったロクハ公園、なごみの郷、長寿の郷ロクハ荘と併せ新規提案となった草津クリアホールの各施設において、当事業団は市の政策を中間支援の立場で支援していく「政策支援型」の提案を行い、草津クリアホールを除く他の3施設では平成27年度から29年度の3年間を、また草津クリアホールでは平成27年1月から平成28年度の2年3ヶ月間を指定管理期間として、提案を行った全ての施設において指定管理業務を受託しました。



事業報告

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

① (仮称) まちづくり活動サポート

相談窓口・協働コーディネーター業務

市民活動や地域協働など、まちづくり活動への入口から専門的な相談まで、市民や団体が気軽に相談できる相談窓口をまちづくりセンターと市に設けました。特に、専門性を有する相談については協働コーディネーターが職員とともに相談を受ける体制を整え、職員のスキルアップも図りました。なお、今年度はまちづくり協議会へのサポートを本格化させたことから、協働コーディネーターも職員とともに地域に出向き、助言や実情を把握するためのヒアリングを実施しました。

<協働コーディネーター業務>

- ・事業団新入職員研修
- ・まちづくり協議会の計画づくりや事業推進のアドバイス
- ・まちづくり協議会でのワークショップ企画および実施
- ・まちづくり協議会へのヒアリングおよび中間支援メニューの作成
- ・市民と行政の協働事業への助言
- ・協働推進に関わる制度等に対する助言
- ・地域活動や市民活動、ボランティア活動に関する相談
- ・NPO法人設立に関する相談
- ・市職員研修（主査・専門員級）講師
- ・中間支援組織機能強化のための事業団・社協職員研修の実施
- ・まちづくりセンターおよび各事業団施設における中間支援機能強化のための事業企画および助言等

<職員によるまちづくり相談・指導> 109件

<事業団・社協職員研修>

4月25日	日本における非営利組織
6月3日	協働のまちづくり条例における中間支援組織の役割
7月29日	両組織が業務上関わりの深いボランティアとNPOについて学び直す ※すべて講師は阿部圭宏さん（協働コーディネーター）

人と街の未来をつくるワークブックの販売・活用

主に地域住民が街を見つめる眼を養い、地域課題の解決や魅力創造に自ら取り組んでいく体験機会の場として平成23年度から実施している「人と街の未来をつくるカレッジ」において実施したワークショップやフィールドワーク手法を冊子としてまとめた「人と街の未来をつくるワークブック」（カレッジ本）を昨年度末に発行し、今年度はその販売と冊子を活用した地域でのワークショップ実施などに取り組みました。カレッジ本は市内の地域まちづくり協議会をはじめ、地域まちづくり関係者に謹呈したほか、HPや大学生協、雑誌掲載等を通じて広報販売を行いました。

【販売・謹呈冊数】	248冊（販売109冊・謹呈139冊）	
【購入・謹呈】	市内まちづくり協議会等 同志社大学・島根県立大学・立命館大学・自治大学校 高島市・八尾市・吹田市・京田辺市・豊田市・三鷹市 他	
【新聞掲載】	京都新聞・読売新聞	
【雑誌】	月刊「ガバナンス」（ぎょうせい） 地方自治職員研修（公職研）	
【ブログ】	日本ファンドレイジング協会「事務局便り」 DREAMGATE 社長ブログ「臨床政策学者 杉岡の独り言」	
【HP】	amazon.co.jp 楽天ブックス TSUTAYA CiNiiBooks 紀伊国屋書店	
【本誌を活用したワークショップの実施】	<ul style="list-style-type: none"> ・老上学区東側まちづくり協議会設立準備会 ・同志社大学大学院「地域再生実践論研究」 ・馬場町内会役員会 ・精華町「せいかまちづくり塾」 	<ul style="list-style-type: none"> 11月13日、20日 11月30日 1月17日

地域まちづくり協議会サポート

<老上学区東側まちづくり協議会設立準備会>

（仮）老上第二小学校が平成28年4月に開校することに伴い、現在の老上学区が分割されることから老上学区まちづくり協議会も分離に向けて準備が進められています。平成26年度は東側地区からの依頼を受け、ワークブックを活用したワークショップを実施するとともに、企画・分析等を行いつつ、まちづくり協議会設立準備会の設立・運営をサポートしました。

発起人会	5回
ワークショップの実施	3回
先進地視察同行	7月23日（八尾市）
協議会事務局協議	18回

<その他の地域サポート>

- ・人と地域が輝くまちづくり常盤協議会

指定管理導入に向けた相談対応や先進地視察同行、学識者の紹介、先進事例の資料提供など依頼に対応しました。

先進地視察同行	11月6日（羽島市）
意見交換会	10月8日 老上学区（東側）と合同開催

- ・志津まちづくり協議会

まちづくり計画更新のためのワークショップ実施に向けた事前協議

- ・大路区まちづくり協議会

「草津の60年を振り返る年表写真」（事業団主催）を活用した地域写真展の企画協議

- ・笠縫学区まちづくり協議会・笠縫東学区まちづくり協議会

旧笠縫地域における「ふるさと絵図作成勉強会」 講師派遣	3月23日 （笠縫市民センター）
-----------------------------	---------------------

NPO実務講座

市民公益活動団体が日々の活動や実務の中で抱える課題の解決や、より活動を円滑に進めていくサポートを目的としたNPO実務講座を昨年に引き続き開催しました。今年度は団体の情報発信力を高めることをテーマに実施しました。

「見栄えが良くなる写真の撮り方」 講師：板山きよ美さん（NPO法人びいめ〜る企画室 理事長）	2月27日	参加人数 15人
「心に響くキャッチコピーの作り方」 講師：板山きよ美さん（NPO法人びいめ〜る企画室 理事長）	3月6日	参加人数 15人
「ポスターを印象的にする方法」 講師：鹿田由香さん（NPO法人びいめ〜る企画室 理事）	3月13日	参加人数 16人

② 市民活動ハンドブック

当初の計画では、市内の市民活動団体の基礎情報のほか、実務支援情報として規約の作り方や会計処理などの実務や中間支援情報を盛り込んだ複合型の「市民活動ハンドブック」を発行予定でしたが、多様な市民公益活動団体について、それぞれの活動状況や組織力の熟度に応じた体系的な実務支援情報として集約するまでには至らなかったことから、精査の上、公開できる実務支援情報に絞り、HP（まちサポ）に掲載しました。また、団体の基礎情報

は「市民活動団体情報つながりのめ」として従来どおり発行し、市民活動団体のネットワーク構築やボランティアの参加拡大の他、市民活動のマスコミ掲載等に活用いただきました。

〈市民活動団体情報つながりのめ〉 発行 500 部 掲載団体 263 団体

③ 草津市生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」の作成発行

前年度に引き続き、市生涯学習課から生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」の作成業務を受託。市民センターや市役所各課、事業団施設などで実施される生涯学習関連の講座・イベント等の情報を収集・発信しました。冊子の作成ではピクトグラムの採用や施設マップの変更など、より分かりやすく見やすくする工夫を施し、市民センターや図書館など公共施設だけでなく、これまで配架がなかったコミュニティカフェやサロンなど民間施設への配架も拡大しながら、より広く市民に手に取ってもらえる機会の拡大に努めました。

〈草津市生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」「誘・遊・友更新版」〉 発行各 800 部

④ 草津市ゆうゆうびとバンクの作成発行および登録者活動支援

平成26年度は、新たに市生涯学習課から「草津市ゆうゆうびとバンク」の発行と登録者の講座開設支援事業を受託。市作成時のレイアウトを一新し、よりわかりやすい誌面と登録者のHPやフェイスブック、ひとことPR欄を付加し、読者から登録者へのアクセスを高め、公共施設への配架やまちづくり協議会・町内会・PTA等への配布を行い、活用いただく機会の拡大に努めました。また、生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」と併せて受託することにより、講座・イベント・人材の生涯学習情報を事業団に集約し、市民活動情報と地域まちづくり情報に生涯学習情報を付加することで中間支援組織としての情報機能を高めました。併せて、登録される学習ボランティアの自立した社会還元を目的に、今後登録者自らが講座等を開設していく際に役立つミニ講座を「ひとまちキラリ助成サポート研修」と併せて実施しました。

〈草津市ゆうゆうびとバンク〉 発行 150 部



⑤「パワフル交流・市民の日」と「くさつ子どもフェスタ」の合同開催

（「市民ふれあい秋まつり」の開催）

<市民ふれあい秋まつり>

市民活動団体同士、団体と市民との交流機会を提供しながら、市民のまちづくりに対する関心と協働のまちづくりを進めるための交流イベント「パワフル交流・市民の日」を前年度に引き続き、「福祉を考える市民のつどい」（社協）や「くさつ市民アートフェスタ」（生涯学習課）などと「市民ふれあい秋まつり」として合同開催しました。また、草津市制60周年となる平成26年度は60周年にふさわしいにぎわいを創出すべく、事業団が事務局サポートを行う「くさつ子どもフェスタ」をはじめとした複数イベントも同時開催し、それぞれに市民活動団体や大学・行政等による実行委員会形式とし、事業団が事務局を担いながら中間支援組織としての交流促進機能の強化に努めました。なお、この「市民ふれあい秋まつり」に合わせて「草津の60年を振り返る年表写真展」も併せて実施しました。

10月18日 草津市役所・アミカホール他周辺 来場者数 1,800人

<事業団が事務局となって実施した実行委員会>

市民ふれあい秋まつり実行委員会	4回
パワフル交流・市民の日実行委員会	4回
くさつ子どもフェスタ実行委員会	4回

<草津の60年を振り返る年表写真展>

草津市が誕生してからの60年を振り返る歴史年表タペストリー・写真パネルを作製し、申請があれば誰にでも製作物を貸出せる体制を作るとともに、市民ふれあい秋まつりのほか5ヶ所で展示を行いました。新住民にとっては自分の知らない草津を知る機会となり、旧住民にとっては街の生い立ちを再確認できる催しとなりました。

<主催展示>

10月18日	アミカホール（市民ふれあい秋まつり）
11月10日～11月19日	JR草津駅
12月 1日～12月10日	JR南草津駅

<貸出展示>

11月21日～11月25日	草津市秘書課（市制60周年式典）
12月12日～12月15日	草津市サッカー協会（草津市サッカー協会長杯）
2月10日～ 2月12日	下物町町内会総会

⑥ コミュニティ・ビジネス講座

地域住民が主体となり、地域の資源を活用しながら地域の様々な課題解決や魅力創出を行うコミュニティ・ビジネスの具体的な手法について、活動の土台となるマーケティングに精通した専門家に自身の経験談も交えた話を講演いただきました。

9月20日 まちづくりセンター	<p>「“志金”のつくり方・集め方」 講師：山元圭太さん（NPOマネジメントラボ代表） 主催：草津市コミュニティ事業団 後援：草津市・草津市社会福祉協議会・淡海ネットワークセンター 参加人数：約60人</p>
--------------------	--

⑦ 市民活動支援（助成金等）

<ひとまちキラリまちづくり活動助成事業>

市民による自主的で公益的なまちづくり活動の実現を通じて、創意工夫あふれる魅力的なまちづくりを推進することを目的に「ひとまちキラリまちづくり活動助成事業」を実施しました。今年度は新規採択2団体、継続採択3団体に助成するとともに、活動に対する相談対応や広報支援などの丁寧なフォローアップや活動のHP等による情報発信を行いました。

1月には27年度の採択団体を決定するため公開ヒアリングと審査会を行い、新たに3団体への助成を決定し、3月には今年度で助成期間が終了する3団体の成果発表と2年目の活動団体についての成果発表および継続審査会を行いました。また、採択団体の実務力を向上させていくため、今年度よりミニ講座をゆうゆうびとバンク登録者との合同で実施しました。

【継続助成団体】 3団体（2年目）	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとおやじのふれあい 郷土史「志那町のいまむかし発刊事業」 「まちキラ寄席」 	<ul style="list-style-type: none"> 〈おやじの会〉 〈志那町史編纂委員会〉 〈エコノボイス 滋賀〉
【新規助成団体】 2団体（1年目）	<ul style="list-style-type: none"> 老上で農業生活をたのしもう 市の花「あおばな」の普及活動 	<ul style="list-style-type: none"> 〈老上西農業合校〉 〈湖南農業あおばなで染める会〉
【平成27年度 助成決定団体】 3団体	<ul style="list-style-type: none"> 消えゆく民具の保存と伝承事業 子育てサロン コスモスの会 びわスポ☆ 	<ul style="list-style-type: none"> 〈ふるさと玉川「民具を照らす会」〉 〈コスモスの会〉 〈びわこてらこや〉

<ミニ講座>

2月18日 草津コミュニティ 支援センター	<p>「予算・決算に便利！エクセルで簡単会計事務 /チラシや広報に使えるデジカメ写真活用法」 講師：吉田知津子さん（ばそらぼ） 参加人数4人</p>
2月25日 まちづくりセンター	<p>「ブログに団体情報を掲載してみよう～ブログ開設からアップまでの流れ /フェイスブックを活用した効果的な情報発信」 講師：後藤美子（職員）/仲野優子さん （草津市協働コーディネーター） 参加人数6人</p>

⑧ 地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」の運営

事業団における施設や事業の情報を広くわかりやすく発信するとともに、組織としての透明性を確保するため、事業団 HP・各施設 HP およびそれらと草津の魅力や多様なまちづくり情報をつなぐ「くさつ情報ネット」を運営するとともに、コンテンツの集約や整理を図る各 HP のカスタマイズを行いました。

⑨ まちづくり協議会 HP 運営サポート

全学区に出そろった地域まちづくり協議会の情報発信と運営面での透明性を確保するため、引き続き各まちづくり協議会 HP の運営サポートとカスタマイズを行いました。また、基本的な情報が円滑に更新できるよう、実際に情報更新を行う担当者を対象とした基礎講習会の開催や個別訪問・電話相談対応によるアフターフォローを随時行いました。

＜運営サポート＞	10学区（笠縫・南笠東・志津南学区は独自 HP）
＜基礎講習会＞	6月4日 草津市役所
＜各学区HP公開日＞	6月18日
＜フォローアップ＞	電話対応 43件・訪問対応 5件

⑩ まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の作成発行

市民がつくるまちづくり情報誌として発行してきた「コミュニティくさつ」の更なる内容充実と事業団広報媒体としての役割を果たすべく、事業団情報や各施設において公益活動に取り組む市民活動などの情報を統合するとともに、興味をひく誌面デザインを導入するなどのリニューアル化を図りました。また、事業団の認知力を高めるため、市の協力を得て今年度より町内回覧とし配布先の充実を図ったほか、市民参加型の応募コーナーを設け、読者の声を反映した誌面づくりを行いました。また今年度は、基礎的コミュニティの大切さを再認識することを基幹テーマに町内会活動のヒントとなる取材を行い、誌面を構成しました。

7月号（101号）	「今だからこそ、話したい。町内会のこと。」	6,300部
9月号（102号）	「回覧板は今日もまわる。」	6,300部
12月号（103号）	「高齢者の不便・不安・不満を減らせ」	6,300部
3月号（104号）	「町内会って、なんだ!？」	6,300部



⑪ 草津市市民まちづくり提案事業報告会 *市移管事業

市が行う「市民まちづくり提案事業」の報告会の開催を市より移管され、平成25年度に実施された6つの協働事業についての報告会を引き続き実施しました。昨年度の反省点を踏まえ、協働事業に関心を持つ市民・団体が集う同事業の説明会に合わせて実施することで、協働の具体的な課題を今後の協働事業に活かしていく工夫を行いました。また、これまでのNPO側だけの報告にとどまらず、協働相手先である市担当課にも報告いただくことで行政側の協働課題も顕在化しました。なお、報告会の実施にあたっては事前にNPO・市担当課双方へのヒアリングを実施することで短時間ながらも、より質の高い報告会となる工夫も施しました。

<市民まちづくり提案事業報告会> 5月29日 参加人数40人（報告者含む）

⑫ 市民協働円卓会議運営サポート事業 *市移管事業

多様な市民や行政が、草津のまちづくりや協働の未来像を語り合い、実践していく「市民協働円卓会議」に参画するとともに、市からの移管業務として事務局である草津青年会議所の支援を行いました。

<全体会議> まちづくりセンター他	5月10日～3月14日 計11回	
<クリーンセンター見学会> 草津市立クリーンセンター	(ミナクサマップと防災マップグループ) 8月5日	参加人数 10人
<みんなでトーク ～青少年の現状について～> まちづくりセンター	(生きがい・子育てグループ) 8月6日 話題提供：市生涯学習課	参加人数 12人
<みんなでトーク ～草津における公共交通の 現状と課題について～> まちづくりセンター	(交通グループ) 10月27日 話題提供：市交通政策課	参加人数 8人
<市長報告会> 草津市役所	3月27日	参加人数 9人

⑬ 草津市コミュニティ支援センター

公営市民営として建物の良好な維持管理および利用者の安全確保に向けて同センター運営会のサポートを行いました。同センター総会で決議された施設管理（鍵の管理方法）については、登録団体との意見交換を経て安全性のみならず利用者の利便性を考慮し、10月からまちづくりセンターでの鍵の貸出へと変更しました。また、市民活動情報やイベント情報を発信するため、イベント情報誌「いいことないかな でんごんばん」を発行しました。

5月1日 7月1日 9月1日 1月15日 （年4回、各5,000部）

⑭ 各種団体との協働事業

他の団体や組織等が行う事業等において、事業団の趣旨に合うものを選択しながら後援、共催等の名義使用や事業参加、職員派遣等を行いました。

- ・入学児童記念撮影事業協力（草津青年会議所） 職員派遣
- ・草津納涼まつり実行委員会への参画 委員派遣等 4回
- ・大路区民まつり（大路区まちづくり協議会） 委員派遣 5回
- ・滋賀県中間支援センター意見交換会（幹事：淡海ネットワークセンター）職員参画 4回
- ・災害支援市民ネットワークしが運営委員会&研究会 職員参画 2回
- ・草津市の医療福祉の在り方に関する研究会（草津未来研究所） 職員派遣 4回
- ・立命館大学「近江草津論」 講師派遣
- ・草津市協働のまちづくり・市民参加推進委員会（市まちづくり協働課）事務局参画 5回
- ・草津市市民公益活動団体連絡協議会（市まちづくり協働課） 職員派遣 3回
- ・ひとつづくり協議会（草津青年会議所） 職員派遣 4回
- ・渋川いきものがたり作成支援委員会（渋川小学校） 委員派遣 3回
- ・第3回草津市社会福祉協議会ボランティアフェスティバル 出展参画
- ・立命館大学「ソーシャルコラボ演習」 講師派遣
- ・同志社大学「地域力再生実践論研究」 講師派遣
- ・馬場町内会役員会まちづくりワークショップ 講師派遣
- ・同志社大学「コミュニティ創造政策」 講師派遣
- ・「月刊 地方自治職員研修」2014年12月号（公職研） 寄稿
- ・立命館大学「地域参加学習入門」 講師派遣
- ・精華町「せいかまちづくり塾」WS 講師派遣
- ・草津市災害ボランティアセンター運営協議会（市社協） 職員派遣 2回
- ・おうみ未来塾（淡海ネットワークセンター）草津班 講師派遣
- ・旧笠縫地域のふるさと絵図作成勉強会 講師派遣

⑮ 市民公益寄付金制度

個人からの寄付を増やすため、30周年記念イベントを中心にPRを積極的に行いました。寄付付き飲料自動販売機は、まちづくりセンター2階に1台となごみの郷に1台増設しました。そのほか、クリア・アミカ両ホールで、企業や団体が物品販売をした際に売上金の一部を寄付金として受け取ることができる文化芸術振興協力寄付金制度を1月から追加しました。

⑯ 事業団ファンクラブの創設

市民とともに歩む事業団を広め、事業団が取り組む様々な活動を協力支援していただくため、事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」を創設しました。また、マスコットキャラクターの「まち活マッチ」は、設立30周年特別事業を中心に様々な事業で活躍しました。

（初年度会員数 約70人）

(2) まちづくりセンター

まちづくりセンターは、新しく始まった指定管理期間の初年度として「登録団体とともに創る草津のまち～市民公益活動の活性化を目指して～」の運営理念のもと、市民公益活動の場として、また中間支援施設としてその役割を果たすべく、適正な管理運営を行いました。なお、7月には事業団設立30周年特別事業の一つとして「ふるさと落語会～まちづくり嘶～」を開催し、滋賀県出身の落語家を迎え「まち」を意識してもらえる場として約200人の皆さんに来場いただきました。

① 公益活動の日の実施

公益性を高めていこうとする登録団体を対象に、休館日にあたる水曜日を「公益活動の日」と位置付け9月から開設し、公益活動の推進に努めました。

9月17日	花架拳
24日	草津エコー
10月 1日	日本民謡八祥会
15日	運営協議会全体会連絡会議
29日	情報部会サロン展示準備
11月26日	研修部会・渋川地区の視察研修で意見交換会
1月21日	生命の体操普及会

② ふらっとサロンの有効活用

ふらっとサロンを体験型活動や各団体等の作品展示の場として活用しました。

5月17日～5月29日	草津でホテルを楽しむ会の展示「ホテルの集い」
5月30日～6月13日	渋川小学校「渋川生き物絵図」とパネル展示
6月 9日	花架拳の一日体験会
6月29日	星座学習会 立命館大学天文研究会の学生が説明 82人参加
7月13日	くさつ市民協働円卓会議による「絵本の読み聞かせ」
7月28日	花架拳の一日体験会
8月18日	花架拳の一日体験会
9月26日～10月25日	草津納涼まつり「つくりものコンクール」大賞作品2点展示
12月 1日～ 1月 5日	紅墨会 水墨画展
1月18日～ 1月25日	草津市子ども会指導者連絡協議会「書初め展」
1月23日～ 1月27日	福ふくゼミナール はがき展
2月 7日～ 2月21日	ロクハ荘同好会作品展示

このほか、④子育て支援「ママ・コミュニティ」事業をふらっとサロンで開催し、効果的な活用を図りました。

③ インターネット環境の充実

市民活動をサポートするため、4月にタブレット式パソコンとポケットWi-Fiを導入し、インターネット環境を整え、会議室利用者にも貸し出しました。

④ 子育て支援「ママ・コミュニティ」事業

前年度、まちづくりセンターが「赤ちゃんの駅」（草津市）として登録され、乳幼児連れなど親子の利用が増加していることを受け、「赤ちゃんの駅」付加機能としてふらっとサロンに設置した「ベビー&キッズスペース」を親子が安心して過ごせるスペースとして提供するほか、子育て中の保護者間の交流をはじめとした世代間交流など子どもたちの心を育む機会を子育て支援団体等との協働で提供しました。

7月24日～3月24日 10回 計179組

⑤ まちづくりセンター アウトリーチ（まちの彩り事業）

まちづくりセンターに登録する市民活動団体を中心に、病院や銀行など市内の公共空間等を活用して公益的な活動の紹介や作品を展示するアウトリーチ「まちの彩り」事業の実施に向けて制度を構築しました。この事業を通じて、活動の公益性を高めていくこと、また、より多くの市民が地域社会の課題解消や魅力創出に取り組む市民の姿を知ること、まちづくりへの関心の裾野を広げ、また自分らしいまちとの関わり方を見つけてもらうことを目的としています。

<アウトリーチ> 9月23日～11月24日 計7件

⑥ まちの情報局

まちづくりセンター1階では、草津市内で行われた催しや各分野で活躍している市民を紹介した新聞記事を掲示するコーナーや、行政計画やパブリックコメントなどの行政資料を閲覧できるコーナーを設置し、まちづくりの情報拠点としての機能を充実させています。

また、2階ロビーには、地域まちづくりに役立つ図書を集め、市民に情報を提供しています。

⑦ 運営協議会事務局業務

まちづくりセンターの利用者（市民）、所有者（草津市）、指定管理者（事業団）で構成するセンター運営協議会の事務局として、登録団体の研修と情報発信、施設の利便性の向上に努め、運営協議会を以下のとおり行いました。

全体会6回 研修部会6回 施設部会6回 情報部会14回

⑧ まちづくり機器貸出事業

まちづくり協議会や町内会、社会教育団体、福祉関係団体などが地域コミュニティの促進や市民活動のために実施するイベントなどに必要な各種まちづくり機器の貸し出しを実施しました。平成26年度からは、事業団ファンクラブの登録会員と、ガス機器、電気機器を3台以上の利用者に10%割引を設定しました。

【まちづくり機器展示実演会】 6月29日 まちづくりセンター 参加人数約70人

2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

(1) なごみの郷

平成26年度のなごみの郷は、平成23年度から4年間受託した指定管理期間の最終の年度として「互いにふれあい学びあい、教養を高めながら地域への還元」をテーマに、多世代交流施設としてより多くの市民の方の利用をめざし、老若男女や多世代の交流を図る事業を実施しました。また、次年度以降の事業展開を見据え、同好会や利用者の協力によるイベントを実施し、生きがいや地域との関わりにつなげる事業展開を図りました。

① 高齢者生き生き増進事業

健康相談や介護予防講座（草津市共済事業）、新規講座である健康ダンス教室などの各種講座を実施しました。

② 心身の健全な育成、豊かな人間性を育てる事業

ウォームアップヨガや親子料理などの新規講座をはじめとする各種講座を実施しました。

③ 地域との関わり事業

地域中学生の体験学習の受け入れや市民センターや近隣保育園の陶芸教室の受け入れなどを行い、地域との連携を深めました。

④ 多世代交流事業

親子陶芸教室などの親子のふれあい講座を実施するとともに、同好会や利用者の協力による「親子の日お楽しみ会」を実施し、多世代の交流を図りました。

⑤ 利用者向上対策事業

毎月の行事カレンダーを発行し、講座やイベントの案内をするとともに、ロビーコンサートなどの気軽に参加できるイベントを実施しました。

(2) 長寿の郷ロクハ荘

平成26年度のロクハ荘は、平成22年度から5年間受託した指定管理期間の最終の年度でした。このことから利用者に満足していただけるよう当初の事業計画を遂行し、「利用者にさまざまな形でロクハ荘にかかわってもらおう！」をテーマに楽しみを共有しながら積極的にイベントに取組みました。また、高齢者の健康づくりや多世代交流のための講座やイベント、更には従来のイベントも内容の充実を図り、新規イベントなどにも取組みました。

① 高齢者の健康づくり、介護予防の推進

高齢者の健康づくりとして、健康相談や各種講座を実施しました。初めての試みとして「カラオケ講座」を実施。特に「草木染講座」は大好評を得ました。

② 多世代交流事業

多世代交流事業として、親子の「トランポレクササイズ講座」や夏休みや春休みのこどもシアター、七夕コンサート等を実施しました。また、子育て支援事業としての「くれよん」と連携した、事業等も実施しました。

③ 協働の役割

協働の役割として、同好会活動の支援を継続し、その発表の場として第20回記念の「ふれあいまつり」を開催しました。また「ふれあいまつり」開催に際して、マスメディアへ積極的に連絡を取り、FMラジオやTV出演、草津市のホームページや一部の新聞社へ記事を提供しました。

④ 周知活動

利用者向上対策として、月替わりのハーブ湯や季節感満載のしょうぶ湯・ゆず湯を実施しました。また、ホームページの充実に取り組み、各種イベントや講座のポスター・チラシを市民センターをはじめ市内の各施設に配布するとともに、巡回バスの側面を利用してロクハ荘のアピールに努めました。

⑤ 利用者向上対策

今回初めて多世代交流と利用者数向上を目指してロクハ荘の大広間に櫓を組み、盆踊りなどの「夏まつり」を設立30周年特別事業として開催しました。

⑥ 地域とのかかわり事業

- ・近隣の学校など団体イベント（事業）出演／志津保育園鼓隊、高穂中学校ブラスバンド
- ・職場体験学習の受け入れ 高穂中学校
- ・地域老人会などの大広間の団体利用

（3）高齢者コミュニティ

なごみの郷およびロクハ荘において、指定管理事業に加え事業団独自の「高齢者の福祉および多世代交流」事業を実施し、利用者間の交流を図りました。

- ・なごみの郷では、施設内レストラン事業者と連携した「コミュニティカフェ」実施しました。
- ・ロクハ荘では、ロクハさくらまつり・ロクハ演芸会・ロクハシアター等を開催しました。

3. 環境及び公園緑地等に関する事業

（1）ロクハ公園

平成26年度のロクハ公園は、平成24年度から3年間受託した指定管理期間の最終の年度でした。このことから、これまで培ってきたノウハウを活かし自然観察事業などを行い、自然とふれあえる機会を通して公園の魅力向上に努めました。あわせて市民参加の公園づくりを目指し、ロクハ公園ボランティアによる花壇づくりやピオトープづくりなど公園づくりの活動を支援しました。そして6月には、設立30周年特別事業として「緑化フェア・ロクハ大感謝祭」を開催し、約12,000人ものお客様にお越しいただきました。また、イベントの様式や公園の魅力・活用方法をインターネット動画などのツールを活用し発信しました。そのほか、南ゲートエリアでは、お花見広場と駐車場など一部が供用開始されました。なお、今年のロクハ公園プールの利用者数は、天候不順の影響により約68,900人となり、前年度より約11,700人あまり減少しました。

① カブトムシの家（自然ふれあい事業）

7月下旬から8月中旬までの23日間、公園内に設置しているカブトムシ観察舎の運営を草津市から受託し、無料開放しました。（入場者数 のべ3,618人）

(2) 児童公園等

市内児童公園等の維持管理については、巡回点検を行い、不良箇所・危険箇所の早期発見に努めるとともに、公園緑地課より依頼を受けた案件にも迅速な補修・修繕の対応をしました。あわせて、地元自治会や市民からの依頼事項（修繕・刈草収集・樹木剪定・害虫駆除等）についても迅速に対応し、市民の立場に立って安心かつ安全で楽しく利用できる公園の維持管理の向上に努めました。また、込田公園、南草津駅東山道記念公園の清掃業務を主とした維持管理、および市内14箇所の児童公園等の便所の清掃業務も行いました。公園遊具施設管理システムの導入と専属の人員配置により、市内児童公園ごとの公園台帳を整備し、設置されている遊具（施設）等の管理状況を正確に把握し、適切な維持・管理・修繕等を行いました。なお、日々の修繕情報や新たに調査をしている情報（写真、地図、水道設備、電気設備、植栽関係等）も順次入力を行い、より良い公園管理システムの構築に努めました。

① 環境・緑化関連機器貸出事業

地域の環境美事業への取組みに対する支援・協力を行うため、肩掛式草刈機をはじめ自走式芝刈機や乗用草刈機、軽トラック（ダンプ）などの環境・緑化関連機器を無料（燃料代等は実費）で貸し出しました。

② 粉碎機貸出事業

平成26年度からごみ減量推進課の委託を受け、市民向けに「家庭用粉碎機の無料貸出」を行いました。これは、家庭などの庭木の剪定で発生した枝や葉をゴミとして処分せず、粉碎・チップ化することで、堆肥として各家庭で再利用しやすくするとともに、市内におけるゴミの減量化と資源の有効活用に努めました。（貸出件数 のべ19件、チップ化量約2,000kg）

② 環境・学習事業

ロクハ公園という自然環境に恵まれた最高のフィールドを最大限活用して、身近な動植物の生態観察をはじめ、EM菌や木炭による水質浄化、自然エネルギーの利活用等、自然や環境に関連する学びの機会を提供する環境・学習事業として展開しました。また、前年度に引き続き、平成26年度もJR南草津駅西口の東山道記念公園において、イルミネーションによる装飾事業「2014イルミナ★ワンダーランド」を開催し、南草津の街を彩りました。



4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

(1) 草津クレアホール

県立しが県民芸術創造館が平成27年1月から市立草津クレアホールとして開館したのに合わせ、当事業団が新たに指定管理を受託し「人と街と未来にコミュニケーションする文化創造ホール」の運営理念のもと、市民による文化芸術の振興を進める中核施設としてプロ・アマ双方にわたる市民の多様な文化芸術に対する需要に応えるべく、貸館業務を中心に安全・安心かつ利用者サービスの向上に努め、市民の文化芸術活動のサポートを行いました。1月6日の開館記念式典は市民文化団体による「春の海」で開館し、市民公募による歌「クレアであいましょう」を披露、また、アミカホールミュージカルチームによるミュージカルショー「くさつ花めぐり」の公演は満席になるなど、市民文化芸術振興の拠点にふさわしい劇場として幕を開けました。

(2) 草津アミカホール

アミカホールは、新しく始まった指定管理期間の初年度として「草津をまるごと劇場に！アウトリーチする文化ホール『made in くさつ』の文化に挑戦」をテーマに草津市の芸術、文化ならびに生涯学習の拠点として市民文化の「創造の場」「交流の場」「発信の場」を提供しました。事業については公募による市民参加、市民企画を主とし、幅広い世代のニーズに応えることができるとともに市民プロデューサーの育成や未来を担う子どもたちの芸術創造の場として次世代育成にも努め、オリジナルプログラムの開発による多彩で次世代につながる事業を展開しました。

① 市民参加型事業

オーディションで選ばれた市民による草津市民創作ミュージカルKAM2014「ミュージカルショーくさつ花めぐり」や、「ワクワク子どもの広場」「草津市合唱祭」など、市民とともに創造するホールと共に街づくり、人づくりにつながるプログラムでコミュニティ振興を担うホールの役割を果たしました

5月 5日	ワクワク子どもの広場「まち活マッチショー」	参加人数 600人
7月 21日	子どもが輝くブックトークコンサート	参加人数 300人
10月 18日	アミカ講座「おやじのショークワイア」	参加人数 300人
11月 8日	ミュージカルショーくさつ花めぐり	参加人数 600人
1月 10日	草津市青少年アンサンブルコンサート	参加人数 300人
3月 21日	草津市合唱祭	参加人数 480人

② 鑑賞型事業

地元アーティストを中心に「発表の場」の提供と質の高い音楽を提供するとともに、新人若手アーティストの育成を目的とした市民企画のコンサートや学生の音楽活動支援することで、草津市の文化の振興や発展に寄与することができました。

5月30日	ウィークエンドコンサート 映画音楽をたのしむ	参加人数 300人
6月29日	ウィークエンドコンサート 昭和のうたスペシャル	参加人数 300人
7月21日	子どもが輝くブックトークコンサート	参加人数 300人
9月23日	ジャズフェスティバル in くさつ	参加人数 300人
12月12日	子育て支援コンサート クリスマスの贈り物	参加人数 300人

(3) 文化・芸術

(1) (2) の事業に加え、事業団独自の「文化・芸術」事業をクレアホール・アミカホール等で行いました。あわせて両ホールの持つプロとのネットワークや舞台技術等を有効に活用し、芸術を肌で感じ体験できる場を提供する試みとしてアウトリーチ事業を展開し、文化芸術の魅力を市民にお届けしました。

① アートセンターの開設

市民に開かれたホールとして、音楽、演劇等、舞台芸術に関する情報発信や技術支援等のアドバイス、オリジナルプログラムの紹介など「出会いの場」「交流の場」として情報収集につとめ、登録アーティストの派遣やコーディネートにより中間支援組織としての機能も高めていきます。

- ・アーティスト登録、派遣、コーディネート
- ・芸術プログラムの紹介
- ・文化コーディネーターの育成
- ・市民プロデューサー育成 ほか

<草津市立常盤小学校 音楽物語こわれた1000の楽器 音楽指導 講師派遣>	7月
<草津市立笠縫東小学校 芸術鑑賞会 コーディネート>	6月 ほか

② アウトリーチ事業

地域の子ども～大人まで 誰もが気楽に舞台芸術に親しめるアウトリーチ事業を積極的に展開しました

- ・くさつ子ども環境会議 ミュージカルチーム出演 ほか

(4) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営管理を行うとともに、(一社)草津市体育協会、各種スポーツ協会等が主催するスポーツ事業等を通してスポーツ振興と市民相互のふれあいや地域連携意識の高揚を図り、ひいては協働のまちづくりの発展に寄与しました。

5. その他の事業

(1) 事業団設立30周年特別事業

事業団設立30周年を記念し、事業団のファン拡大につなげるため各施設において各種特別事業を実施しました。草津市制60周年記念事業との相乗効果を狙い、事業団の誕生月である5月を中心にファミリー層を中心とした事業展開を図りました。

Ⅱ 収益等事業

(1) 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行いました。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の運営管理を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の文化、歴史、名所などの紹介や地元産物の販売など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、まちづくり振興の一助としました。また、平成24年度に発足した「道の駅草津ファンクラブ」や地元地域団体との連携を密にし、さらなる魅力の創出に努めました。

② まちづくりセンター貸館

市民活動の推進に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般貸館を行いました。一般貸館は市民活動団体の利用の妨げにならないよう、センター3階部分のみとしました。

③ ロクハ公園（プール事業）

ロクハ公園プールの運営管理を行いました。なお運営管理については、安全確保に万全を期すため専門業者に委託する方式としました。また、5月20日から9月28日の間、プールを活用した事業として全13の各種水泳教室を委託で実施しました。

＜プール開設期間 125日＞		
室内プール (25mプール・幼児プール)	5月15日～6月30日	13:30～20:30
	7月1日～8月31日	10:00～20:30
	9月1日～9月30日	13:30～20:30
屋外プール (流水プール・ウォータースライダー)	7月1日～8月31日	10:00～17:30

④ 児童公園等維持管理

市内児童公園等の遊具補修や高木の剪定業務、防虫・駆除など、地元住民による自主管理では対応が困難な業務に対し、公園事務所職員による対応をはじめ、専門性の高い業務については業者に発注し、問題の処理に当たりました。

⑤ なごみの郷、ロクハ荘、クリアホール、アミカホール、各施設の維持管理

なごみの郷とロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クリアホールやアミカホールの修繕や維持管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行いました。また、自動販売機や軽食コーナーを専門業者に委託で設置し、利用者の利便性の向上に努めました。

(2) 収益活動

公益目的事業の実施や法人運営のための費用を捻出することを目的として、以下の事業を実施しました。

① 野村月極駐車場

草津市土地開発公社所有の土地を有償で借用し、月極駐車場として運営しました。平成26年度は、当該地が平成28年度から（仮称）野村スポーツゾーンとして新たに整備される計画の住民説明会が行われ、今後、月極駐車場として使用できなくなることの影響等から解約が進み、年間のベ契約台数は1,572台で前年度（1,786台）に比べ12%減少しました。

② 合同会社

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、草津市体育協会と連携しながら、スポーツ施設の運営管理およびスポーツ振興事業の展開を図りました。

<管理施設>

草津市立総合体育館、野村運動公園、草津市立武道館、志津運動公園、弾正公園（テニスコート、多目的広場、草津グリーンスタジアム）、ふれあい体育館・運動場、三ツ池運動公園

Ⅲ 重要な契約に関する事項

1. 指定管理業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
まちづくりセンター	草津市立まちづくりセンターの管理に関する協定	草津市	25,609,000
なごみの郷	草津市立なごみの郷の管理に関する協定	草津市	80,581,127
長寿の郷ロクハ荘	草津市立長寿の郷ロクハ荘の管理に関する協定	草津市	69,419,164
草津市公園事務所	草津市都市公園（ロクハ公園）の管理に関する協定	草津市	58,975,200
草津アミカホール	草津市立草津アミカホールの管理に関する協定	草津市	32,822,000
草津クレアホール	草津市立草津クレアホールの管理に関する協定	草津市	19,729,000

2. 受託業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
道の駅草津	道の駅草津駐車場等管理運営業務	草津市	15,169,000
草津市公園事務所	児童公園等維持管理業務	草津市	64,106,000

3. 委託業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
草津市公園事務所	プール管理運営業務	(株)サンアメニティ	18,439,380

※契約金額が 1,000 万円を超える業務のみ記載